

令和6年度 学校評価アンケートの結果及び分析のご報告

12月に実施しました学校評価アンケートでは、多くの保護者の皆様からアンケートの回答をいただき、ご協力に感謝申し上げます。今年度の教育活動について、学校教育目標実現に向けた3つの柱「健やかな体 心身ともにたくましい子」「確かな学力 進んで学び合う子」「豊かな心 認め合い 助け合う子」の視点から分析し、今後の取組について検討いたしました。その結果をご報告いたします。

また、学校HPにカラー版を載せております。どうぞご覧ください。

学校HP



グラフの見方

そう思う

ややそう思う

あまり思わない

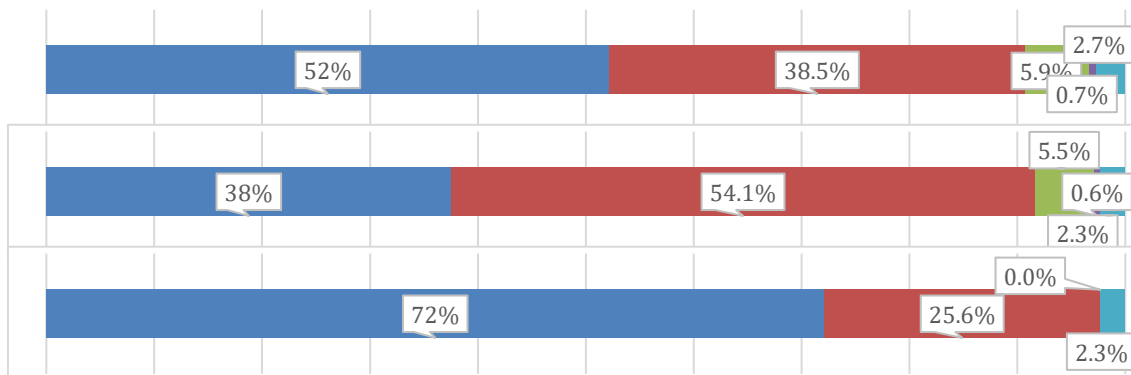
思わない

分からない
(指導機会がない)

健やかな体 心身ともにたくましい子

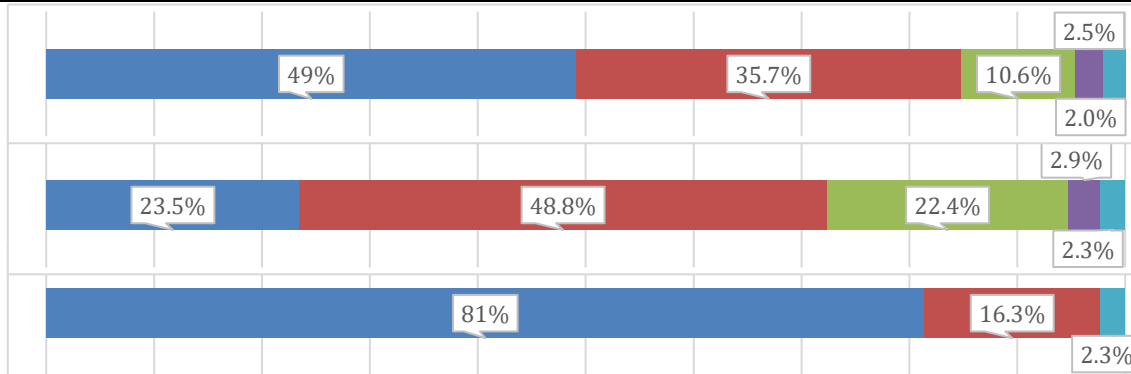
| ① 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---|---|
| 学校は「日吉の子のやくそく」をもとに学校生活におけるルールを決めています。やくそくを理解し、学校のルールを守って生活していますか。 | 学校では「日吉の子のやくそく」をもとに学校生活におけるルールを共通理解しながら子どもたちに指導しています。お子さんに学校生活のルールが身に付いてきていると思いますか。 | 「日吉の子のやくそく」をもとに、基本的な学習ルール、生活のルールを守る指導をしていますか。 |

児童
保護者
教職員



| ② 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---------------------------|--|--|
| すすんで気もちの良いあいさつをおこなっていますか。 | 学校では児童指導の重点目標として「あいさつをしよう」に取り組んでいます。お子さんはあいさつを進んでしていると思いますか。 | 自らが元気なあいさつを心掛け、あいさつが進んでできるよう指導をしていますか。 |

児童
保護者
教職員

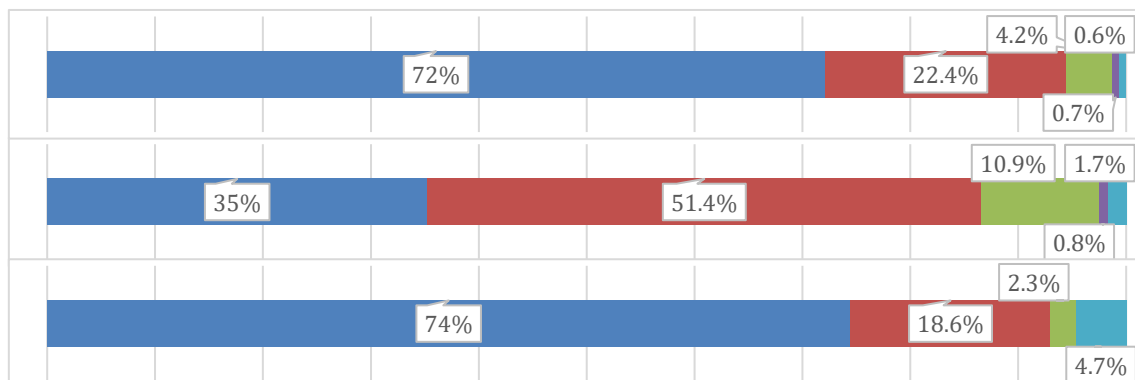


① ② 分析/今後の方向性と改善案

①で「そう思う/ややそう思う」と回答している児童と保護者は昨年度同様に90%を超え、ほとんどの児童は学校生活上のルールを理解し、守って生活ができていると思われます。しかし、②での児童は90%をやや下回り、保護者の方は約70%と下回ります。「自ら進んであいさつを行う」という課題には、今年度の運営委員会が12月に「あいさつ運動」として取り組み、朝からボランティアの児童たちと共に元気なあいさつを広げていました。①と②に対して教職員の意識も高まっているので、今後継続した指導や取組を行いながら自然にあいさつができる学校環境を整えていきます。また、引き続きご家庭でもあいさつの大切さを伝えていただき、学校とご家庭で連携して指導していきます。

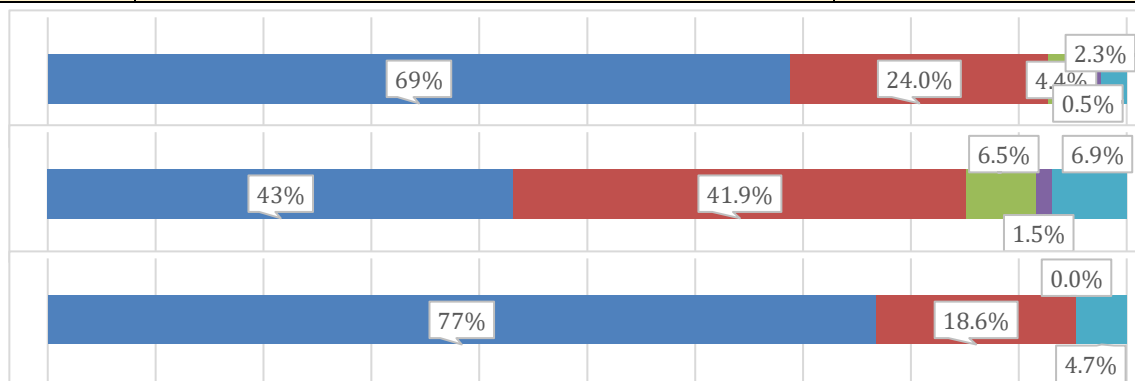
| ③ 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---|---------------------------|
| 学校の行き帰りでは、通学路を守り、安全に気を付けて登校、下校することができますか。 | 学校では、児童が安全に登下校できるようにPTAのご協力も得ながら、教職員の地域巡回や登下校の見守りに務めています。お父さんは、安全を意識しながら登下校できていると思いますか。 | 日頃から児童の登下校時の安全指導に努めていますか。 |

児童
保護者
教職員



| ④ 児童 | 保護者 | 教職員 |
|--|--|---|
| 災害等（地震・火事・大雨・台風・不審者対応など）の危険を知り、非常の時に安全に行動ができますか。 | 学校では、児童が非常時に安全に行動できるように様々な形の避難訓練や非常食の備蓄などを行っています。学校は、防犯・防災に対するの対策を取っていると思いますか。 | 災害時における危険を認識し、日常的な訓練を生かし、非常時に自分で考えて、行動できるように指導していますか。 |

児童
保護者
教職員



③④ 分析／今後の方向性と改善案

登下校時や災害時の安全への意識について、「そう思う／ややそう思う」と回答した児童は90%以上、また保護者も85%以上と、昨年度と同じくらい肯定的な回答の割合が高いです。

登下校に関しては、地域の方から「登下校時に道路に広がったり、遊んだりしながら歩いている」との声を頂くこともあります。子どもたち自身は安全に気をつけながら歩いていると思っても、大人の目からすると危険な行動をしていることがうかがえます。

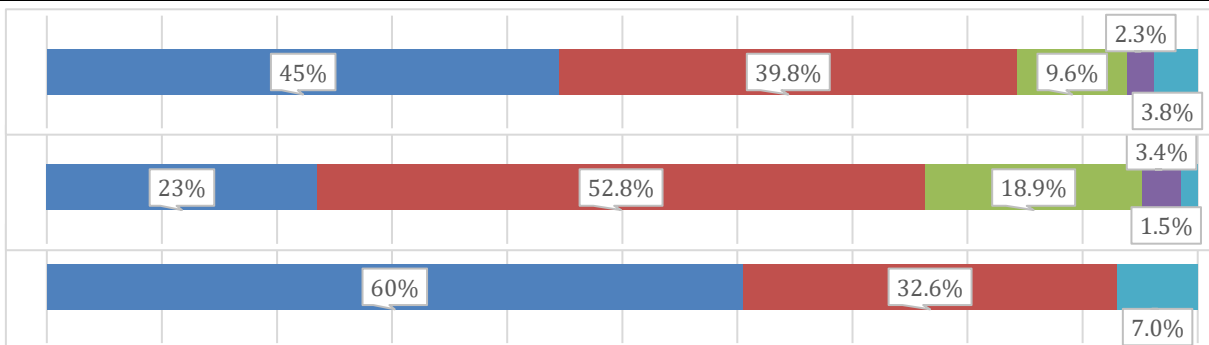
また今年度、大地震の危険性が高まっているという懸念から、シェイクアウト訓練という地震の時にとっさにとる行動に特化した訓練を実施しました。その点からも、子どもたちの意識は高まっていると感じています。

学校運営協議会で「避難訓練が学校場面に限定されているのではないか」というご意見がありました。登下校の安全は交通面だけでなく、地震などの災害面でも指導することが必要です。児童が、自分で考えて自分の身を守ることができるよう、登下校の安全、災害時の行動など自分事として考える指導に努めます。

確かな学力 進んで学び合う子

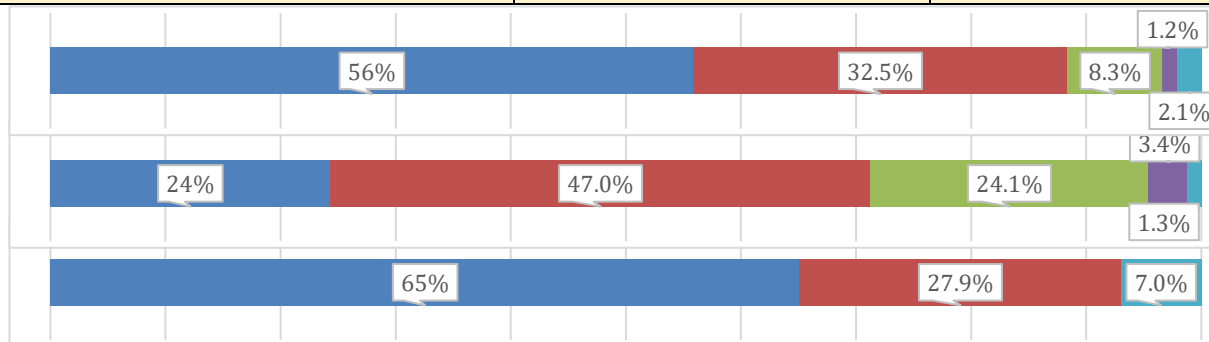
| ⑤ | 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---|--|--|
| | (低) 学習の後に、「どんなことをがんばったか」「どんなことができるようになったか」などと、じぶんの学習をふりかえることができますか。 (高) 「何ができたか」「なぜできなかったか」など、自分の学習を振り返り、その後の学習に生かそうとしていますか。 | 学校では、学習の定着を図ったり、次へのめあてを持たせたりするために、振り返りを大切にしています。お子さんは、学習の積み重ねができていると思いますか。 | 身に付けさせたい資質と能力を明確にし、ねらいを明確にした指導と評価を行っていますか。 |

児童
保護者
教職員



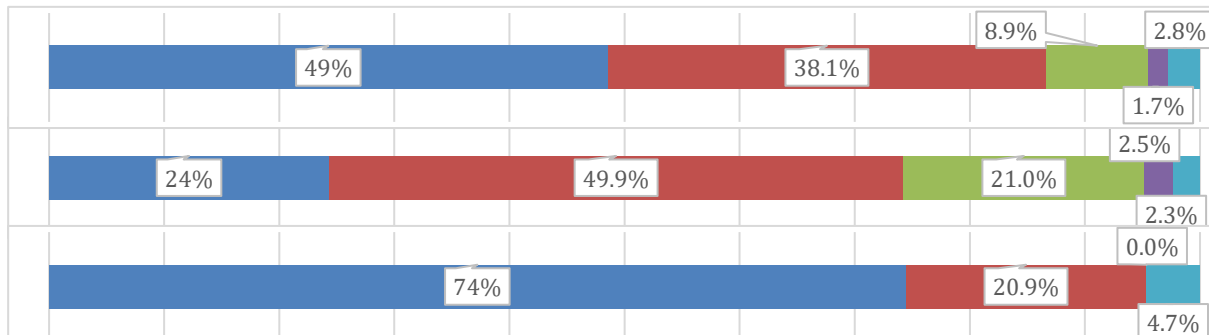
| ⑥ | 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---|--|--|
| | (低) めあてをもって進んで学習し、最後まであきらめずに問題に取り組んだり、作品を作ったり、練習したりしていますか。 (高) 学習のめあてを意識して、課題や問題に進んで取り組んだり、最後まであきらめずに考えたり、やり方を工夫したりしていますか。 | 学校は、授業のめあてを意識して主体的に学習できる授業づくりに努めています。お子さんは、自分から課題に取り組んだり、最後まであきらめずに取り組んだりしていると思いますか。 | 自分が担当する児童の学習状況を見取り、主体的に学習に取り組めるよう、指導計画を考えたり授業準備をしたりしていますか。 |

児童
保護者
教職員



| ⑦ | 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|--|--|--|
| | (低) 人の話をしっかり聞き、感想を言ったり質問をしたりすることができますか。 (高) 人の話を聞くと「その人の伝えたいこと」が分かり、自分の考えをもつことができますか。 | 学校では友だちとの学び合いを大切にしています。お子さんは大切なことを聞き取ったり、自分の思いを書いたり話したりすることができますか。 | 児童同士の関わりの中で伝え合いを通して、気付く、広げる力を育てることを意識して指導を行っていますか。 |

児童
保護者
教職員



⑤⑥⑦ 分析/今後の方向性と改善案

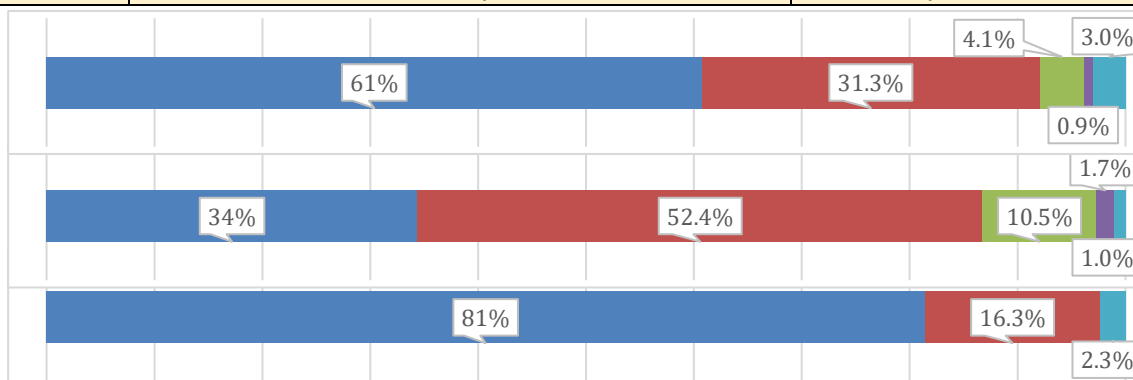
学習に関するどの質問に関しても、「そう思う/ややそう思う」が85%を超えるという割合を維持できています。今年度は校内の研究は算数科を通して「自ら進んで学び合う子」というテーマに向かって学習を進めています。算数科だけでなく、学習全体の学び方を児童が習得し始めています。また、繰り返し「振り返り」や「話し合い・認め合う」ことの重要性を教師が感じ児童に伝えることで、自分の考えをもつこと・学習の振り返りの習慣化につながり、児童にとっても学習の過程において重要だと理解できている結果だと思われます。

しかし、児童・教職員の結果に対して保護者の「そう思う/ややそう思う」の割合が75%前後を推移していることから、昨年度に引き続きノートやプリントから学習の様子を家庭で話題にできるようにしていきたいです。さらにGIGA端末を取り入れた学習を行い、学習の成果だけでなく、過程も見られるような工夫を行っていきます。

豊かな心 認め合い 助け合う子

| ⑧ 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---|--|
| どの友だちも大切にして、同じように助けたり、優しい言葉をかけたりしていますか。 | 学校では、共生*共育プログラムや道徳を通して、子ども同士の関わりを大切にしながら望ましい人間関係の形成に努めています。お子さんは他者の気持ちを考えた行動が身に付いてきていると思いますか。 | 授業や学級活動などで友達と助け合った場面を価値づけ、一人ひとりが温かい人間関係を築けるよう指導していますか。 |

児童
保護者
教職員



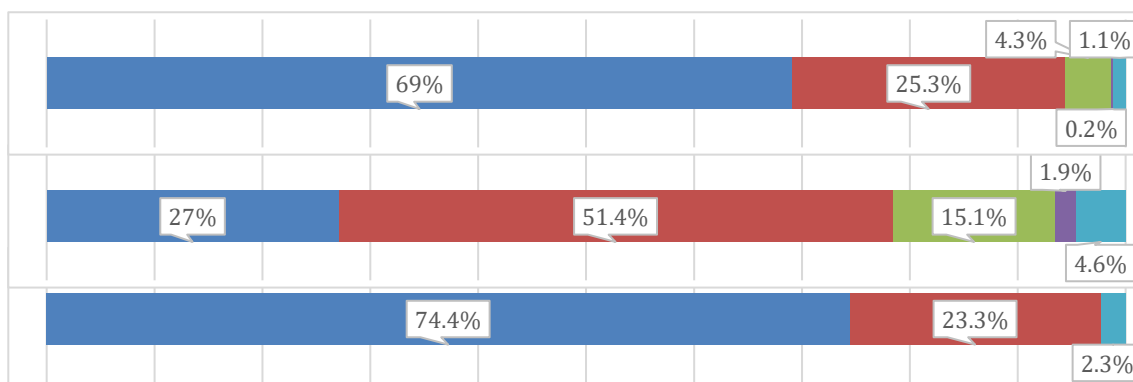
分析/今後の方向性と改善案

昨年度と同様、児童の90%以上が「そう思う/ややそう思う」と回答しています。児童は自己理解や他者理解について学ぶ「かわさき共生*共育プログラム」や道徳の授業を通して、友達との関わりを大切にすることを意識が高まっていると考えられます。保護者については昨年度とほぼ同程度の割合が示されています。学校内だけでなく、校外でも子ども達が思いやりのある行動を見せていたのだと考えます。

これからも他者意識を高める取組みを年間通して継続的に進めていきます。児童が他者に対してよい関わりができた時には見逃さず、その行動に対して価値づけをしていきます。来年度も人権尊重教育や「かわさき共生*共育プログラム」を実施し、その取組みが保護者の方にも伝わるようにします。

| ⑨ 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|--|--|
| 学校生活をよりよくするために、当番や係・委員会などの自分の役割を進んでおこなっていますか。 | 学校では、委員会活動、学級活動、異学年交流等の中で、子どもたちの自主的・自立的な態度が育つよう支援してきました。お子さんは、自主的に学校生活をよりよくしようとする姿勢が育ってきていると思いますか。 | 学校生活の様々な場面で児童が自主的に活動できる場を設け、自主的に行えたことを価値付け、さらに意欲をもって取り組めるよう指導していますか。 |

児童
保護者
教職員



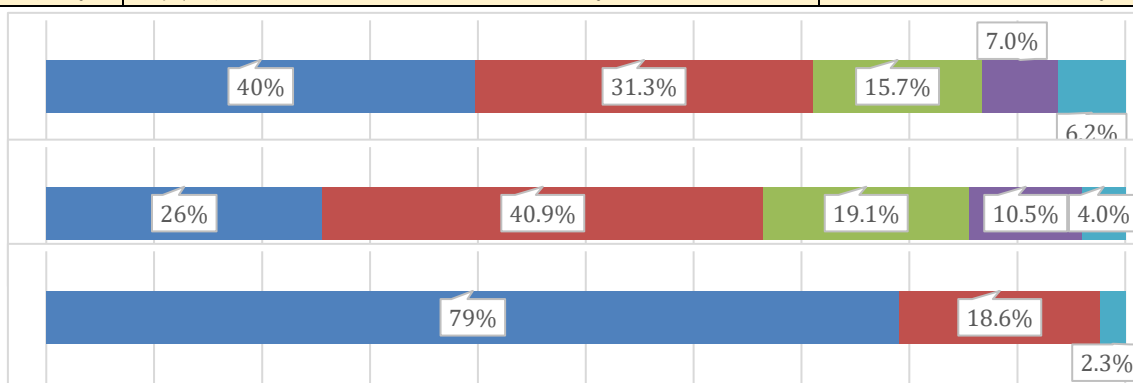
分析/今後の方向性と改善案

大多数の児童が当番活動や実行委員・委員会活動などに、積極的に取り組んでいる姿が見られます。委員会活動では、全校児童が参加できる企画など工夫した活動が行われ、校内を活気づけていました。ただ、今年度も進んで活動できていないと回答する児童もいるため、教員の声掛けや参加を促す工夫も必要だと考えます。当番活動や実行委員に対する保護者の方の認知はまだ低いため、保護者の方にも活動内容や取組が伝わるようにしていく必要があると考えます。授業参観や個人面談で児童の活動が伝わる工夫を行っていきます。

これからも児童の自主的・自発的な活動を実現していくとともに、児童の意欲向上に努めていきます。

| ⑩ 児童 | 保護者 | 教職員 |
|--|---|---|
| もし気になることや心配なことがあるとき、担任の先生や他の先生に相談することができますか。 | 学校では支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図り、児童理解を深めることに努めています。お子さんは、気になることや心配なことがあるとき、担任または教職員に相談することができますか。 | 児童や保護者からの相談を真摯に受け止め、学年内で情報を共有しながら、児童の困り感に寄り添った対応ができていますか。 |

児童
保護者
教職員

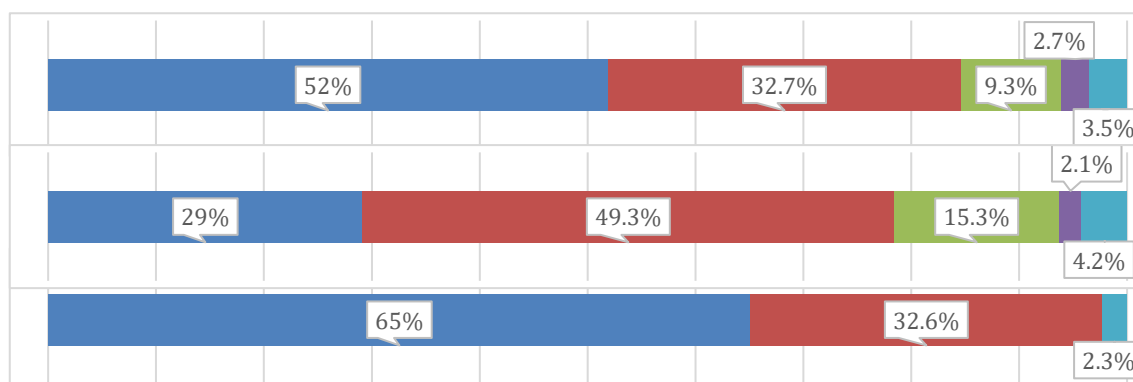


分析／今後の方向性と改善案

児童の「そう思う」「ややそう思う」の回答が、昨年度より約7ポイント下がりました。これについては、夏休み明けより児童指導の体制を校内で見直し、各担任が帰りの会等で児童に不安な気持ちを聞き取るようにしたためだと考えられます。ただ、年2回の学校生活アンケートで担任が初めて児童の不安感を見つけるケースも未だにあるため、校内で協議しながら、児童にはいつでも誰にでも相談していいことを今まで以上に周知していきます。一方、保護者に関しては昨年度より「そう思う」「ややそう思う」のポイントがあがりました。保護者・学校で情報を共有し対応することで子の不安感を解消する一歩に繋がります。今後も保護者と連携しながら学校生活を送ることができるように努力していきます。

| ⑪ 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---|---|
| 学習や行事を通して、地域や学校のことについて知ったり興味をもったりすることができるようになりましたか。 | 学校では、学習や行事を通して、地域や学校について知ったり、興味をもったりするように指導しています。学校やお子さんから、地域や学校に対する意識の高まりを感じられますか。 | 学習や行事を通して学校や地域のことについて知ったり興味をもったりすることができるような指導をしていますか。 |

児童
保護者
教職員



分析／今後の方向性と改善案

昨年度と比較すると、児童の「そう思う」「ややそう思う」の数値が下がりました。昨年度、周年行事で学校と地域に関わる学習を多く取り入れ児童の意識が地域にかなり向いたためだと考えます。150周年で制作した副読本を活用し、地域の良さの再発見につなげるとともに、児童が継続して地域や学校に興味を持ち続けられるよう、学習で地域や学校を取り上げていきます。また、学校や地域に目を向けた取組を知っていただく機会を設け、活動や児童の様子を理解していただけるように努めます。地域教育会議のHi4cityフェスティバルをはじめ、地域は様々な行事を企画・実施しています。地域をさらに知ったり新たな人のつながりを作ったりする場として、ご家族で参加してみたいかがでしょうか。